

旧北川織物

旧北川織物(きゅうきたがわおりもの)

建築年:工場・大正5年(1916)

事務所・大正10年(1921)

(国登録有形文化財)

旧北川織物は明治期に創業し、戦前までは織物工場として利用されていました。戦後、機械工場として経営を再開し、平成13年(2001)から無鄰館と称しアーチストファクトリーとして利用されています。

旧北川織物は、現在、主屋、工場、事務所、蔵、レンガ造の北側防火壁が残されています。レンガ壁は旧女工宿舎のもので、木造部は焼失してしまいました。レンガはイギリス積で、現在は鉄骨による補強を施し、モニュメントとして保存されています。また、多くのノコギリ屋根工場は、均一な自然光を取り入れるために採光面を北側に向けて建てますが、このノコギリ屋根工場は採光面を南東に向けて建てられているのが特徴です。

